



### 21世紀の元気

平早勉の世界

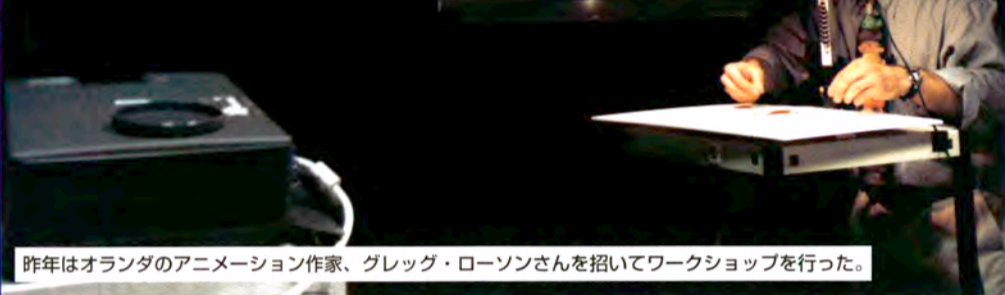
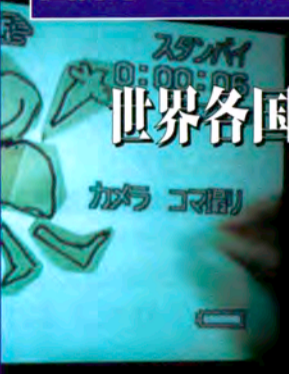
「真夏の水遊びは最高だよ！」としゃべっているのは韓国の子どもたち。親子の絆を大切にする伝統なのだろうか、家族づれのピクニックを休日のソウル郊外の自然公園でたくさんみかける。

こかげの清流の中洲で大きなビニールをしき、車座になって、キンバックというのり巻きやキムチをつまんでの団らんが幸せそう。おなかふくれた男の子ははだかになって、浅瀬の川に飛びこんだ。

## 国際子ども映画祭 第8回キダー・フィルム・フェスティバル

### 世界各国の子どものための劇映画・アニメ上映

7月28日～8月6日 (こどもの城)4階A・Bスタジオ



昨年はオランダのアニメーション作家、グレッグ・ローソンさんを招いてワークショップを行った。

### 日本でただ1つの国際子ども映画祭

「キダー・フィルム・フェスティバル」(昨年までの「キダー・フィルムフェスト」から親しみやすいタイトルに変更)は、世界的に有名なドイツのベルリン映画祭の子ども映画部門「キダー・フィルムフェスト・ベルリン」と提携して行われている、日本でただ1つの国際子ども映画祭。〈こども審査員〉による審査=コンペティションもあります。今回のコンペティションには、ベルリンの子どもたちが絶賛して〈こども審査員〉賞を受賞した「チャッキー」をはじめとする劇映画3作品、ゲストとして来日するアニメーション作家のアレキサンドラ・シャッツさん(ドイツ)の『大きなネコと小さなネコ』などアニメーション2作品の参加が予定されています。

- コンペティション参加作品 (予定)
- 〔劇映画〕
  - 「チャッキー」(エラ・レムハーゲン監督/スウェーデン/91分)
  - 「冬物語」(フランソワ・ブービエ監督/カナダ/105分)
  - 「おうちへ帰ろう」(ミカエル・W・ホシュテン監督/デンマーク/18分)
- 〔アニメーション〕
  - 「フラットワールド」(ダニエル・グリーブス監督/イギリス/25分)
  - 「大きなネコと小さなネコ」(アレキサンドラ・シャッツ監督/ドイツ/5分)

### 「キダー・フィルム・フェスティバル」の主なプログラム(予定)

- コンペティション参加作品の上映
- 世界の短編アニメーション(アレキサンドラ・シャッツ特集)ほかの上映
- アレキサンドラ・シャッツさんを囲むトークとワークショップ
- 特別関連企画 テレタビーズ・ルーム
- 指導者・一般を対象とした上映・講演・シンポジウム(夜間)

※上映作品などが変わることがあります。くわしい日程などは、フェスティバル公式ホームページ <http://www.kinder.co.jp/> または、(こどもの城)AV事業部【☎03-3797-5664】へお問い合わせください。

コンピュータをとりまく技術の進歩はめざましくコンピュータ・グラフィックスでバーチャル・リアリティ(仮想現実。身近なものではテレビゲームや映画などに利用されている)を作りだすなど、映像の世界にも大きな影響をおよぼしています。私たちもさまざまな形で映像にふれる機会が増え、今まで以上に映像との「かかわり方」を考えることが重要になってきています。

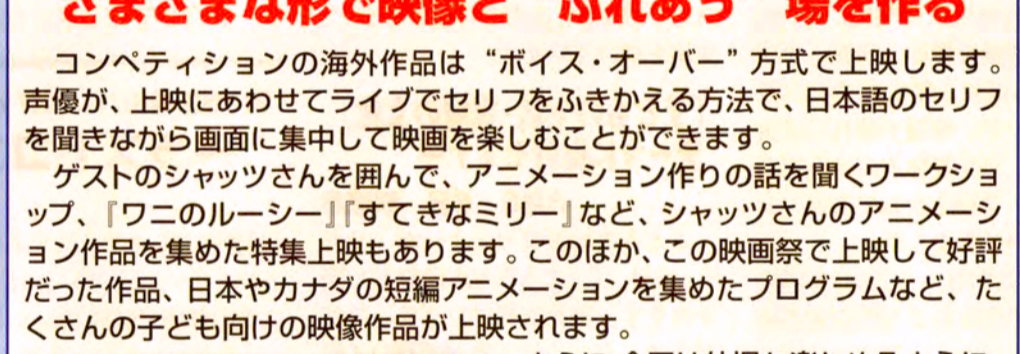
(こどもの城)では、平成5年からキダー・フィルムフェスト・ジャパン実行委員会といっしょに、各国の子どものために作られた映画の上映や映画に親しむためのワークショップなどを開催。いろいろな映像にふれて、映像の楽しさやすばらしさを感じとり、映像との「かかわり方」を考える場を作ってきました。今年も7月28日～8月6日に、(こどもの城)4階のA・Bスタジオで「キダー・フィルム・フェスティバル」を開きます。



▲「チャッキー」



▼「フラットワールド」



▲「おうちへ帰ろう」

### さまざまな形で映像と「ふれあう」場を作る

コンペティションの海外作品は「ボイス・オーバー」方式で上映します。声優が、上映にあわせてライブでセリフをふきかえる方法で、日本語のセリフを聞きながら画面に集中して映画を楽しむことができます。

ゲストのシャッツさんを囲んで、アニメーション作りの話を聞くワークショップ、「ワニのルーシー」「すてきなミリー」など、シャッツさんのアニメーション作品を集めた特集上映もあります。このほか、この映画祭で上映して好評だった作品、日本やカナダの短編アニメーションを集めたプログラムなど、たくさんの子ども向けの映像作品が上映されます。

さらに、今回は幼児も楽しめるように、テレビ東京系で放送中の人気番組「テレタビーズ」のコーナーを設置。イギリス放送協会(BBC)制作の乳幼児(0～4歳)だけを対象としたテレビ番組。21の言語にほん訳され、世界120か国・地域で楽しまれています。親子で「テレタビーズ」の世界で遊べるように、パソコン・ゲームやクイズのコーナーもあります。

声優がライブでふきかえるボイス・オーバー方式。外国語の作品も無理なくみることができます。

スキムマン Vol.3 健康おやつ巻

みんなーおやつだよー♡

きょうは「スキムミルク」で作ったドーナツだよ。

わーい!

おいしいそう!

本物にこだわるボクには ちよっとネー

あー、あつ、ほくちゃん♡

おいしいー

だいじょうぶ!

牛乳から、脂肪分だけを取りのぞいているから ミルクと同じだよ。

カルシウムが多いから体にいいんだ。

フン!! どうだか!!

ボクはママの特製プリンがあるもん!

あー、あつ、ほくちゃん♡

おいしいー

おいしい? 「スキムミルク」入りプリンは?

えっ! ママも使ってたのー

かしこいママも使ってる「スキムミルク」。

「スキムミルク」は、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB<sub>2</sub>」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。

※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキムミルク(22g、牛乳1本分相当)と牛乳(200g、1本)の成分比較	
たんぱく質	8.1g
脂肪	5.8g
糖質	0.2g
カルシウム	286mg
ビタミンB <sub>2</sub>	0.62mg
ビタミンD	0.3mg

TEL 03-3591-3245

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216

	8月13日	8月14日	8月15日
青山円形劇場 11:00/1:30/3:30	腹話術「ハロー!カンクロー」/ 肩掛け人形芝居「ねずみのずもう」 (エツコ・ワールド)	パペットBOX版 「ジャックと豆のつる」 (パペットBOX)	ボードビル/バツタのともだち (人形劇・木づつの木)
研修室 11:00/2:30	さとうさぎのだいごさん/ おどりのすきなおひめさま (人形劇回テアトロ天気)	人形ボードビル「赤いマリ」/ テーブル人形劇「三匹のこぶた」 (れもん座)	手づかい人形劇「パパのしっぽ」/ 腹話術「キリンのリンちゃん」 (糸あやつり人形劇回みのむし)
研修室 1:30/3:30	こいぬとこねはゆかいな ななかま/クロロだジャンプ (あ・ぶ・ぶ@人形劇場)	ガラタ人形劇「ももたろう」/ ゆかいなこびとたち~ワークショ ップで制作する人形による演劇 (クレヨンカンパニー)	としをとった狼(ぼく)/「和尚 さんと小坊主」ブーブーとアッ チツチの巻 (高津人形座)

### 人形劇カーニバル たくさんの「!」~表現から感動へ

8月13~15日 青山円形劇場・研修室

夏休み特別期間恒例のプログラムとなった人形劇カーニバルが、今年も8月13~15日の3日間、青山円形劇場と研修室で開かれます。今年のテーマは、たくさんの「!」~表現から感動へ。

「!」は「感動」すること意味しています。胸がいっぱいになったり、ドキドキすることも「!」ですが、ちょっとしたことで「あれ?」と思ったり、「きゃっ!」と驚いたり、知らず知らずのうちに身を乗り出してしまったりすることも「!」です。「!」は人形劇のなかにも、たくさんあります。人形といっしょに笑ったり、喜んだりーどれも「!」です。

人形劇カーニバルには、9つの人形劇団が参加します。演じる側と見る側の気持ちが一になったとき、たくさんの「!」と出会うことができるはず。

期間中、研修室で「歩くこびとの指人形」を作るワークショップも開催します(受け付けは、午前10時30分~午後4時30分)。

なお、青山円形劇場の公演は、会場

の整理の都合上、入場整理券(無料)が必要。午前の公演は当日10時から、午後の公演は当日正午からアトリウム受付で整理券をお配りします。

### 8月14日と9月10日に「表情人形」を作って演じる講習会

児童館・児童センターなどで指導にあたっている児童厚生員などを対象に、8月14日と9月10日に2日間にわたって、指導者向け講習会「つって演じる人形劇」を開催します。1日目は(人形)を作る、2日目は演じる(操演)を中心に講習します。

今回は、NHK教育テレビ「ハッチボッチステーション」のジャーニーのような「表情人形」を作ります。指導にあたるのは、人形劇・木づつの木の高島佳子さん。ジャーニーの操演を担当するなど第一線で活躍しています。

受講料は、2日で6,500円。1日目の参加も可(3,500円。2日目のみの参加者には人形を用意します)。いずれも材料費込み。定員は各日30人。



「こいぬとこねはゆかいなななかま」/「パパのしっぽ」/「和尚さんと小坊主」(写真上から)

7月12日正午から先着順に電話で受け付け中。お申し込み・お問い合わせは、[こどもの城]企画研修部 ☎03-3797-5665 へ。

### L.I.T.のお兄さん、お姉さんが考えた「遊びのプログラム」

集まれ! 探検隊2000  
8月26日と27日

7月25日正午から受け付け開始

L.I.T.(Leader In Training) = ボランティアリーダーをめざしている高校生のボランティア・グループのメンバーが、年間の活動のまとめとして企画・実施する夏休みプログラム「集まれ! 探検隊2000」が、8月26・27日に行われます。

### 宿泊施設を備えた宮城県中央児童館 地域活動活性化のトレーニングセンター

宮城県中央児童館は、全国でも数少ない宿泊機能をもった県立の総合的な児童厚生施設。6万7千㎡の広大な敷地に、本館(宿泊室、研修室、資料室、ホールなど)、遊戯館、子ども文庫の建物のほか、2か所の遊具園(巨大鉄製遊具園、木製サーキット遊具園)、遊歩道、ミニサイクルロード、おてんとさん広場、2つの野外炊飯場などが、杜(もり)の都・仙台を一望する高台に散在しています。

宮城県児童会館として昭和33年(58)に開館し、39年(64)に宮城県中央児童館と改称して宮城県内の



仙台市街を一望する高台にある「宮城県中央児童館」。木製サーキット遊具園(左)と遊戯館(右奥)。



小学生1~3年生を対象としたワクワク、ドキドキ、ワイワイ、ガヤガヤの遊びのプログラムです。L.I.T.のメンバーが「こどもの城」で発見した「謎の地図」でも、この地図は完全なものではなく、「何か」が欠けているようです。そこで、子どもたちに呼びかけて、探検隊を作り、探しに行くことにしました。

などのサークルやボランティアの育成、児童館、保育所、幼稚園など子どもの施設のリーダーの技術指導など、児童文化の活動が地域の人たちの手で進められるようにサポートしています。講習会や研修会の開催や手作りのおもちゃを募集して展示する「手づくりおもちゃ工夫展」、創造的な遊びを展開する「こどもわいわいワールド」なども人気のある活動です。

遊びの能力をとりもどそうと開発された遊具が設置されている2つの遊具園、レクリエーションや小運動会ができる広場などは、緑に囲まれたなだらかな斜面にあり、自然のなかでのびのびとレクリエーション活動を楽しむことができます。

宮城県中央児童館では、地域の子どもの健全育成活動の重要な担い手である、宮城県児童館連絡協議会、宮城県母親クラブ連絡協議会、宮城県子ども会育成連合会の事務局を置きバックアップも強力に押し進めています。

【宮城県中央児童館】  
〒982-0841  
仙台市太白区向山3-18-1  
☎022-227-7625  
http://www.pref.miyagi.jp/jidoukan  
開館時間=午前9時~午後5時  
休館日=毎週月曜日  
交通=仙台駅前からバス15分、向山高校前下車、徒歩7分。

### 高校生ボランティア L.I.T.(Reader In Training) 新規メンバーを募集!

L.I.T.は、ボランティア・リーダーをめざして、「こどもの城」を活動の基盤に、ボランティア活動をする高校生のグループ。活動の意義や喜びを体験的に学びます。活動は、9月から翌年8月までの1年間。月1~2回、日曜日を中心に活動。春休みや夏休みには「こどもの城」に遊びに来る子どもたちを対象に、遊びのプログラムを自分たちの手で企画・実施するほか、キャンプなどの野外活動にも参加します。

募集するのは、高校1~2年生。受講料は、8,000円。8月10日10時から電話で受け付けます。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部 ☎03-3797-5665 へ。



「マタニティ・スイミング同窓会」に14組の親子が集まる

水泳とおして妊娠中を楽しく過ごす「マタニティ・スイミング」卒業生を招いた講座OGが、6月7日に赤ちゃんふれあい体操をするなど、楽しいひとときを過ごしました。

### こどもの城児童合唱団 夏休みに上海(中国)、青山劇場など各地で公演

「こどもの城児童合唱団」は開館にあわせて活動を開始。現在、小学校1年生から高校3年生まで約200人のメンバーが、毎週土曜日に活動しています。毎年夏休みには全国各地へ出かけ、合宿をかねて交流コンサートを開いてきました。

今年、7月27日~8月3日に訪中し、上海市で開かれる国際児童芸術祭に参加するほか、上海市や北京市の小学校や少年宮(児童館のような施設)で中国の子どもたちと交流します。

7月26日には、渋谷周辺で開かれる世界の民族文化の祭典「ワールドフォーリアード」の開会式(NHKホール)に出演します。

また、8月27日には青山劇場で、ハッピーバースデー・コンサートこどもの城開館15周年記念「ずっと友だち一時をつなぐサウンドメッセージ」の公演も行います。出演は、こどもの城児童合唱団、こどもの城混声合唱団、トワ・エ・モア(広島)ほか。「トワ・エ・モア」は、広島で活動しているシニアコーラスのグループ。昭和51年(76)創立、平均年齢76歳。昭和62年に青山円形劇場公演で共

### 「子どもの生活・家庭の文化」テーマに保育セミナー

8月5・6日 研修室

こどもの城保育セミナーが、8月5・6日、「こどもの城」研修室で開かれます。家族支援プログラムの実践を考えるセミナーで、今回は14回目。「子どもの生活・家庭と文化PART1」をテーマに、保育所・幼稚園・保健所・児童館など育児支援プログラムを行っている施設の職員などを対象に開かれます。

1日目は全体会。小川博久日本女子大学教授の基調講演「子どもの生活と文化」とパネルディスカッション「集団の中での生活と文化」。

2日目は「地域子育て支援を考える」(助言者=山崎美貴子明治学院大学副学長ほか)など4つのテーマに分かれて分科会。

定員は150人(先着順)。受講料13,000円。申し込み締め切りは7月31日。お申し込み・お問い合わせは、「こどもの城」保育開発部 ☎03-3797-5669 へ。

### 第15回青山バレエフェスティバル ~ラストコンサート~

8月12・13日 青山劇場

「青山バレエフェスティバル」は、[こどもの城]が開館(昭和60年='85の11月)した翌年の夏から毎年開かれてきました。ちょうど、世界のバレエシーンで高い評価を受ける日本人の若いダンサーが誕生しはじまったころです。

海外で栄誉と希望を手にした日本の若い新星たちをあたたかく迎え入れ、日本のステージに立つ機会を与え、成長をしっかり支える基盤となるために「21世紀のこどもたちへの贈り物」として「青山バレエフェスティバル」はスタートしました。

それから15年。日本でもダンス・バレエの公演は格段に増え、さまざまなフェスティバル・コンクールが誕生しました。確実にダンス・バレエ人口は増え、世界中のダンス・カン



第10回「青山バレエフェスティバル」公演から(写真=瀬戸秀美)

### TOY DANCE トイダンス~人形たちと7つの不思議な箱~

8月23~27日 青山円形劇場

夏休み恒例の青山円形劇場公演・ファミリー企画「こどもの城・キリンファミリー劇場」が8月23~27日に行われます。今回は、ニューヨークを中心に活躍している佐藤亜紀率いるアキスタジオダンスカンパニーによるダンスパフォーマンス「TOYDANCE(トイダンス)」。

舞台には7つの不思議なおもちゃ箱。ピエロ、バレリーナ、ロボット、兵隊などの人形が動きだすと、おもちゃ箱からすきな物語が飛びだしてきます。箱の中には何があるのかな? 夢や冒険がいっぱいつまったファンタジーランドにみんなで出かけましょう!!

ダンスには言葉(セリフ)がありません。「カラダ」で表現する「コトバ

ティバル」の主な出演者は――

ローザンヌ国際バレエコンクール2000・受賞者/第19回ヴァルナ国際バレエコンクール・ジュニア部門上位入賞者6人/小嶋直也/シャロン・ウエナー/久保絃一/高部尚子/竹島由美子/中村かおり/高橋宏尚/宮内真理子/西島千博/中村祥子/田中祐子

■公演日時=8月12日6時30分、13日2時  
■入場料金はA席7,000円/B席6,000円  
青山劇場予約センター ☎03-3797-1400 ほかで前売り中。

験してください。

作・演出・振付=佐藤亜紀/出演=[アキスタジオダンスカンパニー](佐藤亜紀、笹沼暁子、野崎啓介、ねこまひろし、ブレンダン・マッコール、トーマス・アルドリッチ、アダム・フォレスト)/日時=8月23日(2時30分と7時)、24日(11時と2時30分)、25日(1時)、26・27日(11時と2時30分)/料金=2,600円(全席自由席・定員制。3歳以上均一)

青山劇場予約センター ☎03-3797-1400 ほかで前売り中。



### 青山劇場

●少年隊「PLAYZONE 2000」  
7月16日~8月10日 11,000円  
出演=少年隊:錦織一清、東山紀之、植草克秀ほか ※前売券は全部売り切れ

### 青山円形劇場

●en  
4,200円(当日=4,725円)

**夏休み期間中毎日遊べる「得々パス」を発売中**  
[こどもの城]の夏休み特別期間中(7月20日~9月3日)。月曜日も開館。開館時間は午前10時~午後5時30分。9月1日は午後12時30分開館。9月4~7日は休館。毎日利用できる割引券「わくわくパス」(3~17歳の子ども用1,500円)と「ドキドキパス」(大人用1,800円)を1階アトリウム受付で販売しています。お問い合わせは[こどもの城]アトリウム受付 ☎03-3797-5666 へ。